



Welcome to our farm!



Exhibition about workshops



Scratch



ワークショップ、大集合!

なんたうん

NAN-TOWN 2023

— ワークショップ 特集 —

出品者・参加者

小澤亜梨子 / 中村潤 / 八木良太 / HANDOVER FARM / 亀岡小学校さくら学級 / 学びの森



2023 / 3 / 30 (FRI) ⇒ 26 (SUN)

開館時間 10:00 - 18:00

金曜・土曜・日曜・祝日のみ開館 料金無料

主催：きょうと障害者文化芸術推進機構（京都府）、社会福祉法人松花苑 みずのき美術館
協力：一般社団法人学びラボ、亀岡市立亀岡小学校
写真：梅田彩華 デザイン：ALICE OZAWA (Studio .A)

みずのき美術館



INTRODUCTION

約一年前、亀岡市内のふたつの学校から美術館に、生徒たちへのワークショップを行なってほしいとの依頼が寄せられました。

ワークショップも最近はずいぶん馴染みの存在に。遡ると国内では1990年代から文化施設の教育普及活動として実施されるようになり、また近頃は、組織やまちづくりの中でも取り入れられるようになっていきます。私たち美術館もアウトリーチの好機と捉え、前向きに応じたいと考えました。

そして今年度、年間を通じてふたつの学校とのワークショップが並走することとなりました。「学びの森」では、土曜日のちょっと特別な時間をコンセプトに「サタデーパフェ」というシリーズで、2名+1組のアーティストとともに実施しました。そして美術館からもほど近い亀岡小学校の「さくら学級」では、「生活单元」という授業の中で行いました。

当初、子どもたちのためにと始まったワークショップでしたが、結果として大人たちが驚き、価値観を揺るがされることに。これは、4つのワークショップの記録を集めた展覧会、いわばワークショップによるグループ展です。



亀岡市立亀岡小学校 さくら学級

学内の特別支援学級で45名の生徒が7組に分かれて学習に取り組んでいる。先生は7名いて、横井先生と鷹羽（たかは）先生が担当。

八木良太 (やぎりょうた)

1980年愛媛県生まれ、亀岡市在住。既製品を用いた作品制作を行い、従来の制限的な人間の知覚を問うことを試みている。

学びの森

もとは学習塾で2000年よりフリースクールを開校。2019年より放課後等デイサービスも始まる。教室長の木下先生が担当。



中村潤 (なかむらめぐ)

1985年生まれ、京都市在住。紙や糸、糸くずなどの身近なものを素材に、大、小、様々なやわらかい彫刻をつくっている。

小澤亜梨子 (おざわありす)

1991年生まれ。ステンシルでイラストやアニメーションを制作する。2022年、亀岡に移りアトリエ兼駄菓子屋を構えた。



・関連イベント：出張「3じのアトリエ」

講師：小澤亜梨子
日時：2023年3月18日(土) 15:00 - 18:00
場所：みずのき美術館 料金：500円 (事前申し込み不要)



HANDOVER FARM (ハンドオーバー・ファーム)

普段はそれぞれ違う仕事をしている芸術家たちが集まって引き継ぐこととなった農園で、無農薬葡萄の世話をしている。



みずのき美術館

〒621-0861 京都府亀岡市北町18 [JR嵯峨野(山陰)線 亀岡駅南口下車徒歩8分]
TEL 0771-20-1888 FAX 0771-20-1889
EMAIL info@mizunoki-museum.org
http://www.mizunoki-museum.org
※美術館に駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

※今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、予定を変更する可能性があります。その際はウェブサイト等でご案内いたします。ご理解、ご協力をお願いいたします。※ご来場の際は、マスクの着用や手指の消毒をお願いします。また、発熱や風邪症状等、体の具合が悪い方は来場をお控えいただくなど、感染症対策にご協力をお願いします。